

ベルマーク版オーサー・ビジット



「君はどう思うかな?」。生徒にマイクを向ける尾木直樹さん

山口・黒石中
尾木直樹さん

テーマは愛「互いを尊重して」

んは「恋についての考え方や男子に対する気持ちが変わった。男子との考え方の違いなども理解していきたい。想像してた以上にすごい尾木ママで、思い出になりました。」と話しました。

で、どやめきが起きました」で、
「欲しくない」は20%と、
「欲しい」の17%を上回りました。
「恋とは何?」という問いに、「したくなくて、も勝手にしてしまうもの、落ちるもの」という答えに尾木さんも脱帽です。「そうだね、それ」で仕事を棒に振ったタレントと政治家いたたねと話を、約1000人の保護者からも大きな笑いが起きました。

次第にアンケートから離れ、スマホと恋愛、男の脳の働きの違いに飛び、LGBTQといった「色んな子」へと話題は移っていきます。「時代移っています。『人間平等』を認める方向には、多様性を認める方向には、男女平等から様々なグラデーションを経て人間平等へ。男女関係なく一人ひとりが互いを人間として尊重して生きていって下さい。」2時間休みなしの、熱のこもった授業は、このメッセージで締めくくられました。

者とくに人気の本の作者が学校を訪ねて、とおきく授業をする「バルマーク版オース・ピロ」が、9月14日、山口県宇部市立黒石中学校（鶴永幸彦校長、生徒358人）で開かれました。大きな拍手で迎えられたのは、「尾木ママ」の愛称で親しまれている教育評論家の尾木直樹さんです。テーマは「愛」でした。

来てもういたい作者に手作りの色紙を送り、思いがもつとも伝わる学校を訪ねます。黒石中学校は「愛」とい

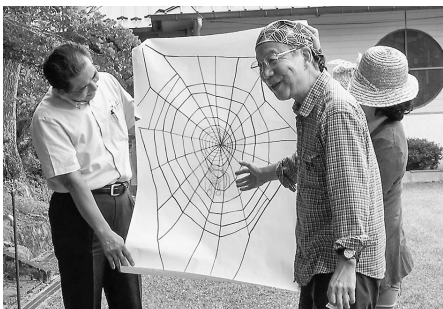
う文字と大きな赤いハト、それに「真面目なたちから先生に聞きたいこと教えてー 尾木ママ!!」というメッセージを添えています。

訪問前に尾木さんは、在校生徒にアンケートをえて、「もっとも面白い、貴重なデータで、なアンケート許してくる学校、そこをうの」と、尾木さんもうしそうです。

授業はアンケート結果を基に進みます。恋愛興味が「ある」54%、「ない」42%。恋人は

互いを尊重して

クモ観察会
和歌山・花坂小



「獲物を捕まえやすいように
下向きで待ち伏せしてるんだ」。
解説するせきねみきおさん

る。など九つの特徴をイラストで示した紙を配り、誰が一番早く、全部確認できるかを競いました。

クモの巣の標本も作りました。水性の白い絵料と糊を巣にスプレーし入れた後、黒い画用紙を後ろから差し入れた後、巣を移動させます。ラッカーを塗って乾かせれば完成です。子どもたちは助け合いながら、ユニークな模様の標本を作りました。

「かっこいいクモを見に行こうぜ」

せきね先生は事前に探し出しておいたナナクモの写真を連れていきました。倉庫の軒下で、黄色と黒のしな模様のクモがガネグモが巣を張っていました。体長2センチ近い大きなメスで、近くには緑色のモナカのような卵と、孵化（ふ）かしてしまっても多くの子クモが身を寄せ合っています。

せきね先生が息を吹きかけると、子クモは四方八方に逃げ出しました。「これを『クモの子を散らす』と言うんだ」と説明しました。

オオヒメクモ、ギンメツギコミゲクモ、スグロオニクモ……。身近な場所にいるような種類のクモがいきました。

授業の締めくくりに、映像を使った教室での講義です。クモが7種類もの道具を使い分けながら巣を張ったり、獲物を捉えたりしていることや、人間の髪の毛の20分の1の細さの糸が、蜘蛛の5倍もの強さを持つことなど、驚きの連続でした。

2年生の寒川（そうがわ） 美月さん

「クモは嫌いだっだけれど、めっちゃいいやつってわかりました」と話していました。

せきね先生は大阪の中高一貫校で理科教師を務めた後、2001年からNPO法人奈良県青少年文化振興協会の「子どもたちのためのクモの観察会」の講師を務め、約10年間で24科111種超のクモ類を確認しました。

身近で採集「いいやつ」実感

エジソンの会
岐阜・山之村小中



マイナス196度の液体窒素につけた花はどうなったかな？

「はい」と思う人」「開れると思う人」と華井さんが問いかけます。「しほん」だ後、膨らんで元に戻る」が正解でした。風船の中に入れるのを酸素や二酸化炭素に代えて変化を確かめました。液体窒素に花や葉、バナナ、ビニールのボールを入れると、花や葉はすぐにパリパリカチカチに凍るのに、ティッシュペーパーは変化しません。「なぜでしょう？、子どもたちに考えてもらってから、」水分が含まれているか、いないか」によって、変化に違いがあることを説明します。

目の前の実験で頭を使った後は、手を動かします。「紙飛行機リング」「ビー玉オールド」「三角すいの紙華籠」「くくるレインボウ」と、紙や木片、ストローといった身近にあるもの、素材を使った作です。トンカチや彫刻刀、ハサミ、カッターを使って、周におもいの工作を作り上げていきます。

「冷たい液体窒素に触れて、とても驚きました」「バナナで釘が打てるなんて、初めて知りました。一人ひとりがお礼と感じたことを話します。中学3年の石橋恵さんは「液体窒素を使えば、これまで驚かされた」と感想を話しました。工作は四つすべてを作りました。「作る前は難しそうでしたが、とても分かりやすく説明してもらえたので、全部出来ました」とうれしそうでした。

「エジソンの会」は岐阜市内（2004年の設立当時は柳津町）の小学校のPTA役員仲間です。元高校教師の、華井さんや宮大工の棟梁、消防署員、市教委課長とさまざまな経歴をもった人たちが、愛知、三重、岐阜の中部3県の学校で出前教室を続けています。8月には15回も開催しました。

不思議な現象「なぜだろう？」

出前授業で感動体験

一輪車や理科教室スタート

会が7月26日、兵庫県のはばり中央にある神戸町立運動館（おちだち）小校（養川千博校長）で開かれました。講師は日本一輪車協会（JUBA）公認インストラクターの鈴木益菜さんとともに国内外の競輪選手が数多く、丁寧な指導で定評があります。

越知谷小は2年生以上の5クラスと、昨年から一輪車の練習に取り組んでいる6人の山村留学生生を除く14人が、育館に集合しました。

鈴木さんは須根さんが「短い期間でも頑張れば上手になります」「自分もパラスで最後まであきらめなくて取組んで下さい」とあいさつし、まず、履きな履きなを織り交ぜた模範演技を披露しました。

3年生以上は鈴木さんの指導で、ローションの間に手を抜ける「スラローム」、2人で手をつないで走る「デュオナード」、クルクル回る「メリゴーラウンド」などに挑戦しました。なめくりは、手をつないだ組が対峙して走り、両手を離して交差するところ難しい集団技です。練習を繰り返して、何とかタイミングを合わせられようになりました。

まだうまく乗れない2年生う人は須根さんの丁寧なアドバイスを受けながら、走れる距離を延ばしていきました。

初心者班は鉄棒を利用

8月26日には、和歌山県のおぼろぎ小（ぎ）小にある広川町立津木（き）小の児童が、32人の児童がで、正しい乗り方や集団演技を学

鈴木さんと須郷さんは、子どもが集中して練習に打ち込む姿に感

ていました。

「メリゴーラウンドを練習する越知谷小の子どもたち



「メリーゴーラウンド」
を練習する越知谷小の子
どもたち

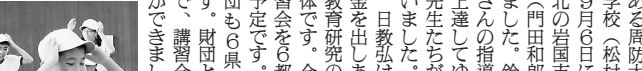
サドルの調整やペダルのごき
方と降り方から講習会が始ま
る。1人で乗れる班は、2人1
つないでグルグルと回る「メ
ラウンド」を練習しました。
は、鉄棒を利用して一輪車の
や前へ進む方法を特訓した
で手をつないで並んで走った



この日の目標「トンネル
ループ」に挑む津木小の
子どもたち



小川小の運動会用演技



弘 弘の主催でも開かれた。類戸内海に浮かぶ周防大島。その東端にある周防大島町立油田小学校（松村享校長）では、9月6日に、7日には東北の岩国市立本郷小学校（門田和郎校長）でありました。鈴木さんと須郷さんの指導で、めきめき上達してゆく児童らに、先生たちが拍手を送っていました。

日教弘は、先生方が資金を出しあって奨学金や教育研究の助成をする団体です。今年は一輪車講習会を6都県12校で開催予定です。ベルマーク財団も6県6校で開きます。財団と日教弘の協力で、講習会を増やすことができました。

国際理解に、全校生徒が協力

愛知県長久手市の市立南中学校（横山光男校長、生徒720名）が、「給本を届ける運動」に初参加しました。

シャンティ国際ボランティア会（SVA）は続いている活動で、本に触れる機会が乏しいアジアの開発途上国の子どもにも絵本を送ろうと、翻訳した本を貼って母語で読めるようにして居ていきます。1999年から行われてきたカンボジアやラオスへ、ミャンマーなどへ27万冊以上を送っています。ベルマーク財団は2000年から支援し、今年度はベルマーク運動に参加している20校がシール贴りのボランティアに協力しています。

南中は日本の中学生として何か出来ないかと考え、「国際理解教育」の体験的学習として生徒全員で参加することにしました。ミヤーンに送るベルマーク



真剣な表情で作業する生徒たち



真剣な表情で作業する生徒たち

の絵本を作りまし
「これはどこに貼るんだっけ
？」「上下さかさまに貼りそう
になったー！」
9月27日、1年3組の生徒31
人が5班に分かれて作業しまし
た。シルを切る、渡す、貼
る、と役割を分担して、ハプニ
ングを乗り越えながら30分間で
5冊を完成させました。巻末で
シルにピルマ語で「1ねん3
くみ」と署名し、完成です。
生徒たちは「文字を読める事
は恵まれていると気付かせてく
れた貴重な体験でした」「この
本を読んで、少しでも喜んでく
れる子が増えたら嬉しい」「一
枚一枚心を込めてきれいに貼
りました」と感想を話しました。
3組の担任で、「国際理解教
育」担当の大菜（おおく）智
子先生は、「全校生徒が一丸と
なって国際理解について取り
組むのは初めてです。いつも雑
談でしちゃう子が集中できたり、
リーダーシップを取れたり、普
段と違う顔が見えました。これ
からも続けていけたらと思いま
す」と話しました。
横浜校長は、「国際的な諸問題
についての知識を深める機会に
なればと考えています」と期待
しています。
ほかにもペットボトルのキャ
ップ回収や赤い羽根募金にも取
り組んでいます。ペルマークは
クラスの福祉環境委員が月1
回、回収箱を集めて整理・集計
して財団に送っています。

スナッグゴルフ対抗戦JGTO杯 東広島・三ツ城小が優勝

プロ選手6人が盛り上げに一役

競技は507ヤード
17'83ヤード、バー36
(35)5の特設コース
で、1チーム6人が9ホ
ールをプレーし、上位3
人のストローク数で競い
ます。

開会式では、前年度優勝
チームの茨城県立南
友部小学校の沢田和磨
君(6年)が選手宣誓
し、競技に入りました。
小学生選手たちは、2、
3回スイングを確認し
てから、「打ちます」と宣
言した後、力強くクラブ
を振り下ろしました。

午後には小雨が降る中、
ホールインワン、ア
ルパトロスが合せて20
も飛び出すレベルの高
大会となりました。

優勝は71打の東広島市
立三ツ城小学校。一昨
年の優勝チームです。キャ
プテンの神田庵吏君(6
年)は「昨年は優勝でき
なくて悔しい思いをし
ました。借りを返すこと
ができて、うれしい」と晴
れやかな表情を見せま
した。神田偉吹君(6年)
と双子選手の母、啓子さ
ん(44)は「優勝を目指
してました。みんなの頑
張る姿が見られたことが
うれしい」と話しまし
た。

準優勝は71打で、同じ



寄贈しています。被災地支援にも力を入れておおり、本大会も一昨年まで3年間は宮城県、昨年からは福島県で開催し、復興を支援しています。用具はベルマークでも買うことができます。



力強いスイングを見せる
小学生選手



狙いを定めてパットを決める小学生選手

スナックゴルフ スナックは「Starting New At Golf (ゴルフを始める)」の頭文字と、「くっつく」の意味の英語を重ねています。テニスボールより一回り小さいボールをマジックテープで覆った円筒形のスナックゴルフにくっつけます。楽しみながら基本やマナー、協力、誠実、我慢・礼儀といったゴルフの精神を学べます。